

今こそ、ちゃんと。防災用品

イオンの防災用品売場 全国1,150店舗で展開

衣食住がそろうGMS「イオン」では最大350品目を展開

イオンは、東日本大震災の発生から1年という節目を迎えるにあたり、お客さまの防災への備えに対する意識の高まりに対応し、防災用品売場をグループ約1,150店舗にて順次拡大展開いたします。全国の総合スーパー（GMS）「イオン」計417店舗では、衣食住の商品最大350品目を一カ所で集合展開するほか、「イオンスーパーセンター」でも品揃えを拡大。また、グループのホームセンター「サンデー（東北）」「ジョイ（山形）」「ホームワイド（九州）」計107店舗では家具転倒対策商品などの用具を中心に関連売場を強化します。さらに、全国の食品スーパー（SM）「マックスバリュ」やディスカウントストア「ザ・ビッグ」約600店でも非常食などを中心に展開し、グループを挙げて、自宅だけでなく職場や学校での自然災害への備えをご提案いたします。



イオン春夏商品展示会場にて撮影

震災以降、当社店舗には被災を経験されたお客さまから「冷たい非常食が続くとつらい」「犬や猫などペットのための備えも必須」など貴重なご意見を多数頂戴しました。

イオンはこうしたお客さまの実体験をふまえ、「本当に必要なモノをそろえよう」というコンセプトのもと、GMS「イオン」では最大350品目をご用意いたしました。衣食住の商品を扱う総合の強みを活かし、非常食から介護用品、赤ちゃんに必要な品々からペット用品、自転車まで、幅広い商品カテゴリーの防災関連商品を一カ所に集めます。

グループのホームセンター「サンデー」では、エンジン発電機やガソリン携行缶などホームセンターならではの品揃えを強化し、最大150品目を扱います。また、SM「マックスバリュ」の東北エリアの店舗では、やきとり、スイートコーン等のすぐに食べられる惣菜缶詰などの保存食をはじめ、懐中電灯やカセットコンロ・ボンベなどの生活用品を中心に、特設コーナーを設置。最大130品目を展開いたします。